



2020年3月24日
Times Higher Education
株式会社ベネッセホールディングス

「THE 世界大学ランキング日本版 2020」発表

世界で最も権威のある英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(以下「THE」)は、高等教育界に特化したデータ・分析・情報を提供し続けており、「世界大学ランキング」を2004年から発表しています。この度、THEはベネッセグループの協力のもと、大学の教学改革やグローバル化の推進に向けて、「THE 世界大学ランキング日本版 2020」を発表いたします。

ベネッセグループは2016年にTHEと業務提携契約を締結し、THEの国内総合パートナーとして協力してまいりました。「THE 世界大学ランキング日本版」は2017年3月に1回目の発表を行い、今年で4回目となります。毎年9月にTHEが発表する世界版ランキングでは「研究力」を軸に据える一方で、日本版ランキングは、日本の教育事情により即した形で大学の魅力や特性が表れるように、大学の「教育力」を測る設計となっています。

昨年に続き、ランキング指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野で構成されています。一般的な国内の大学ランキングは、主に入学時の学力(合格基準)が軸になっていますが、本ランキングは学生の学びの質や成長性に焦点を当てたものとなっています。大学ランキングについては、今回は278大学が対象となりました。

その結果、2020年の総合ランキングでは、初めて東北大学(昨年3位)が1位に、京都大学(昨年1位)が2位に、東京大学(昨年2位)と東京工業大学(昨年7位)が同率3位、続いて5位に九州大学(昨年4位)、6位に北海道大学(昨年同率5位)がランクインしました。

また、分野別ランキングの1位は、「教育リソース」が東京大学、「教育充実度」が国際教養大学、「教育成果」が京都大学、「国際性」が国際教養大学と、昨年から変化はありませんでした。(ランキング詳細については、次ページ以降をご覧ください。)

現在、日本国内では高等教育に関する3つの改革、「高大接続改革」「大学教育改革」「大学経営改革」が進められています。このような中、大学では経営・教育へのPDCAサイクルの導入とデータ収集・分析を行うIRの活用などが、ますます必要になります。また、国内の18歳人口が減少する中で、世界中の大学進学希望者に日本の大学の魅力を多様な側面から伝えていくことは非常に重要です。

THEおよびベネッセグループは、大学ランキングを順位そのものにとどめることなく、大学独自の魅力や特性を客観的に把握するツールとして、大学改革でのプロセスで活用していただきたいと思います。今後、この日本版ランキングを、多くの関係者の皆さまと改善を重ねながら育てていく所存です。日本の大学の教育改革のひとつの指標となるとともに、国内外の大学進学希望者の大学選びの一助になれば幸いです。

Times Higher Education (THE)について

THEは50年にわたり高等教育界に特化し、データ・情報を提供し続けている世界的なオーソリティです：
www.timeshighereducation.com @timeshighered

THE 世界大学ランキング日本版 2020【ランキング指標】

今年度のランキング指標は、昨年度から変更はありません。昨年度から、指標における「教育充実度」の充実を図る目的で、“教員・学生の交流、協働学習の機会”、“授業・指導の充実度”、“大学の推奨度”の3つの学生調査の結果が指標項目に加わっています。

分野 (Pillars)	項目 (Metrics)	%	
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金	8	34
	学生一人あたりの教員比率	8	
	教員一人あたりの論文数	7	
	大学合格者の学力	6	
	教員一人あたりの競争的資金獲得数	5	
教育充実度 Engagement	学生調査：教員・学生の交流、協働学習の機会	6	30
	学生調査：授業・指導の充実度	6	
	学生調査：大学の推奨度	6	
	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	6	
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	6	
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	8	16
	研究者の評判調査	8	
国際性 Environment	外国人学生比率	5	20
	外国人教員比率	5	
	日本人学生の留学比率	5	
	外国語で行われている講座の比率	5	

【指標の補足説明】

分野 (Pillars)	項目 (Metrics)	THE によりスコア化される際に用いられている情報
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金	経常収入、在籍学生数
	学生一人あたりの教員比率	教員数、在籍学生数
	教員一人あたりの論文数	論文数、教員数
	大学合格者の学力	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
	教員一人あたりの競争的資金獲得数	競争的資金（内閣府 HP に掲載）の大学別獲得数、教員数
教育充実度 Engagement	学生調査：教員・学生の交流、協働学習の機会	設問「教員・学生の交流、協働学習の機会の程度」の回答平均値
	学生調査：授業・指導の充実度	設問「授業・指導の充実度」の回答平均値
	学生調査：大学の推奨度	設問「大学の推奨度」の回答平均値
	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	設問「グローバル人材育成に力を入れている」の得票数
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	設問「生徒の力を伸ばしている」の得票数
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」の得票数
	研究者の評判調査	THE による高等教育機関研究者の評判調査の得票数
国際性 Environment	外国人学生比率	在籍外国人学生数、在籍学生数
	外国人教員比率	在籍外国人教員数、教員数
	日本人学生の留学比率	日本人学生の留学生数、在籍学生数
	外国語で行われている講座の比率	外国語で行われている講座数、全講座数

THE 世界大学ランキング日本版 2020【総合順位】(50位まで抜粋)

順位		大学名	スコア				
2020 総合	昨年 総合		総合 Overall	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment
1	3	東北大学	83.0	84.1	80.6	96.6	73.9
2	1	京都大学	81.5	83.4	78.7	98.4	69.1
=3	2	東京大学	81.2	86.5	79.8	94.1	64.0
=3	7	東京工業大学	81.2	80.1	80.8	92.8	74.5
5	4	九州大学	79.7	76.4	79.9	97.4	70.9
6	=5	北海道大学	79.6	73.8	83.4	94.1	72.3
7	=5	名古屋大学	79.5	78.2	80.5	96.1	66.9
8	8	大阪大学	78.9	78.0	77.2	97.9	68.1
9	9	筑波大学	77.7	74.1	84.9	94.4	59.6
10	10	国際教養大学	77.2	52.8	93.0	71.0	100.0
11	11	国際基督教大学	74.3	52.8	90.5	60.6	97.6
12	12	広島大学	72.6	66.5	79.0	78.4	68.9
13	13	早稲田大学	71.5	52.7	79.3	93.0	74.6
14	14	慶應義塾大学	70.2	60.8	76.3	93.7	58.2
15	16	神戸大学	69.5	66.1	75.4	83.4	55.5
16	15	一橋大学	67.4	51.3	78.4	76.6	70.9
17	21	長岡技術科学大学	67.1	61.4	69.3	68.4	72.1
=18	18	金沢大学	66.9	65.9	76.5	58.4	61.0
=18	22	東京農工大学	66.9	69.8	68.5	69.4	57.4
20	17	上智大学	66.5	43.4	82.8	66.3	81.3
=21	27	立命館アジア太平洋大学	66.2	33.7	84.3	60.4	99.0
=21	20	東京外国語大学	66.2	43.3	81.5	66.8	81.9
23	19	千葉大学	65.9	63.3	75.9	72.0	50.2
24	26	会津大学	65.0	63.9	76.8	33.9	74.0
25	25	お茶の水女子大学	64.8	64.2	76.9	55.7	55.0
26	31	京都工芸繊維大学	64.3	59.3	67.1	65.4	67.8
27	NR	熊本大学	64.2	63.6	70.9	59.3	59.1
28	24	岡山大学	63.9	60.6	71.9	61.0	60.0
=29	32	東京海洋大学	63.6	63.1	69.4	63.6	55.7
=29	23	東京医科歯科大学	63.6	84.2	58.2	29.4	64.0
31	28	横浜国立大学	63.2	54.0	70.2	72.6	60.8
32	29	豊橋技術科学大学	63.1	68.5	61.7	45.2	70.6
33	33	立命館大学	62.3	42.3	78.8	68.5	66.8
34	=41	豊田工業大学	61.9	76.8	56.1	57.8	48.6
35	44	芝浦工業大学	61.3	48.8	71.5	61.6	66.9
=36	34	神田外語大学	61.2	35.8	82.6	55.5	76.8
=36	30	横浜市立大学	61.2	69.8	69.9	47.1	44.9
38	NR	九州工業大学	61.1	56.4	74.0	59.4	51.0
39	36	東京理科大学	60.7	55.6	78.6	69.5	35.6
40	=46	福岡女子大学	60.3	49.4	71.9	32.1	83.8
41	43	電気通信大学	60.2	64.9	62.0	65.1	45.4
42	39	首都大学東京	59.7	58.4	69.8	64.0	43.0
43	40	長崎大学	59.3	59.5	68.4	56.0	47.9
44	=57	津田塾大学	58.9	38.2	79.4	57.8	64.0
=45	35	同志社大学	58.8	40.9	77.4	63.7	57.2
=45	37	関西学院大学	58.8	40.1	76.7	57.7	64.4
=47	=48	秋田大学	58.6	58.2	64.8	60.7	48.4
=47	=41	立教大学	58.6	38.2	79.4	56.8	63.6
=49	=48	学習院大学	58.4	43.3	70.8	62.6	62.4
=49	38	大阪市立大学	58.4	65.8	62.4	65.6	34.1

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合はアルファベット順で掲載しています。

※「NR」は、2019版ではランキング対象校でなかったことを示します。

※詳細は「THE 世界大学ランキング 日本版」日本語公式サイトをご覧ください。 <https://japanuniversityrankings.jp/>

THE 世界大学ランキング日本版 2020【分野別順位】（20位まで抜粋）

教育リソース Resources			教育充実度 Engagement			教育成果 Outcomes			国際性 Environment		
順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名
1	1	東京大学	1	1	国際教養大学	1	1	京都大学	1	1	国際教養大学
2	2	東京医科歯科大学	2	2	国際基督教大学	2	4	大阪大学	2	3	立命館アジア太平洋大学
3	4	東北大学	3	3	筑波大学	3	3	九州大学	3	2	国際基督教大学
4	3	京都大学	4	=5	立命館アジア太平洋大学	4	7	東北大学	4	4	大阪女学院大学
5	NR	京都府立医科大学	5	7	北海道大学	5	6	名古屋大学	5	15	梅光学院大学
6	NR	兵庫医科大学	6	4	上智大学	6	11	筑波大学	6	16	創価大学
7	5	浜松医科大学	7	=5	神田外国語大学	=7	8	北海道大学	7	=6	神戸市外国語大学
8	10	東京工業大学	8	10	東京外国語大学	=7	2	東京大学	8	13	福岡女子大学
9	NR	滋賀医科大学	9	=25	東京工業大学	9	5	慶應義塾大学	9	9	名古屋外国語大学
10	6	札幌医科大学	10	8	東北大学	10	9	早稲田大学	10	18	関西外国語大学
11	=8	名古屋大学	11	9	名古屋大学	11	10	東京工業大学	11	10	長崎外国語大学
12	7	大阪大学	12	23	九州大学	12	13	神戸大学	12	14	東京外国語大学
13	=8	奈良県立医科大学	13	=11	東京大学	13	14	広島大学	13	8	上智大学
14	16	豊田工業大学	14	14	東洋大学	14	12	一橋大学	=14	12	京都外国語大学
15	NR	福島県立医科大学	=15	13	立教大学	15	15	横浜国立大学	=14	5	東京国際大学
16	11	九州大学	=15	=20	津田塾大学	16	16	千葉大学	16	17	名古屋商科大学
=17	13	愛知医科大学	17	=11	早稲田大学	17	17	国際教養大学	17	=6	麗澤大学
=17	12	日本医科大学	18	17	広島大学	18	19	東京理科大学	18	19	神田外国語大学
19	NR	大阪医科大学	19	NR	金沢工業大学	19	18	東京農工大学	=19	11	宮崎国際大学
20	=14	筑波大学	20	18	立命館大学	20	25	立命館大学	=19	=25	早稲田大学

※「昨年」は昨年の順位です。

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合はアルファベット順に掲載しています。

※「NR」は2019版ではランキング対象校でなかったことを示します。



THE Chief Knowledge Officer : Phil Baty によるコメント

受験生の大学選びの主な要因として、大学の教育面の価値を見落とすことはできません。大学選びは、若者にとって最も重要な局面の一つであり、彼ら彼女らのキャリアの選択や機会、社会貢献など、今後の人生に大きな影響を与えます。

2017年にTHE世界大学ランキング日本版が発表されて以来、初めて昨年3位であった東北大学がトップに上りつめました。理由としては、教育成果の評判調査スコアの大幅な変化のほか、多くの改善が挙げられます。過去2年にわたって1位の座を占めた京都大学は今年2位となり、引き続き上位において確固たる地位を築いています。また、東京工業大学のパフォーマンスが大いに向上して7位から3位と4位上昇、トップ10の中で最も大きな変動となりました。

以上